

# 事業報告書 団体名:あなたひとりじゃない

事業名	感じる音楽会～あなたの名前は宝物～
-----	-------------------

## 【当初計画の事業目的(取組課題)と実施効果】

### ◆事業目的

#### 1、孤独感の和らげ

音楽や朗読を通じて、障害のある人もない人も、参加者が「自分は一人ではないこと」を感じ、孤独感を和らげることを目的とします。

#### 2、誰一人取り残さない社会の実現への貢献

障害があってもなくても、誰もが参加出来るバリアフリーなイベントを提供することで、誰一人取り残さない社会の実現に貢献することを目的とします。

#### 3、音楽や朗読を通じた感性の育成

音楽や朗読を通じて、参加者の感性を育成し、文化的な教育や知識を身につけることを目的とします。

#### 4、シェイカー(叩いたり、振ることで音が出る楽器含む)をふる体験コーナーの提供

音楽に合わせてシェイカー(叩いたり、振ることで音が出る楽器)をふる時間を設け、障害のある人もない人も、身体を動かしながら音楽を楽しむことが出来る環境を提供することを目的とします。

### ◆取組み課題

代表が難病患者で車椅子ユーザーであることから、普段感じていることは、障害に対して偏見があるということではなくて、障害の種類・病名・症状等が知られていないことが困りごとであると感じている。優しさが無いのではなくて、知られていないが故に対応の仕方がわからないということの方が圧倒的に多いと感じています。

#### 1、障害に対する認知不足

一般社会において障害の種類や症状に対する認知が不足していることが課題です。

#### 2、アクセシビリティの不足

音楽のライブやコンサートに参加するには、障害があってもなくてもアクセシビリティが必要です。

#### 3、孤独感の解消

コロナ禍も加わり孤独を感じる人が増えてきました。音楽の力を借りて、障害があってもなくても、誰もが楽しめる「音楽の場」を提供することで孤独感を解消することが課題です。

### 【実施効果】

「感じる音楽会」を開催し、「名前」をテーマにした朗読&音楽会を体感してもらうことで、孤独感を和らげることを目的とする取組みは、以下のような実施効果となります。

#### 1、孤独感の軽減

音楽による感動や参加者同士の交流により、孤独感を和らげることができます。

#### 2、バリアフリーへの理解と共感の向上

障害があってもなくても楽しめる「音楽の場」を提供することでバリアフリーへの理解や共感が深まります。

#### 3 マイノリティへの理解と共感の向上

参加することで、知識や理解を深めることができます。

#### 4、地域やコミュニティの活性化

音楽会を通じて、出会い交流をすることで、コミュニティの活性化に繋がります。

#### 5、音楽文化の拡大

音楽会を開催することにより、音楽文化の拡大につながります。障害があってもなくても楽しめる音楽の場を提供することで多様な人々が音楽を楽しむ社会への一歩となります。

## 【実施結果(成果)】

- ◆2023年 10月8日(土)
- ◆開場14:00 /開演14:30~16:00(音楽会終了後交流会あり)
- ◆会場:「かわさき老人福祉・地域交流センター・ホール」  
川崎市川崎区堤根34-15ふれあいプラザかわさき内(会場:バリアフリーです)
- ◆参加申し込みURL→ [https://singerkeiko.xsrv.jp/ur\\_not\\_alone/](https://singerkeiko.xsrv.jp/ur_not_alone/)
- ◆参加人数:25名(大人から子どもまで。一般市民や障がいがおありの方や付き添いの方まで)
- ◆講師・演奏者:歌・ピアノ:佐藤翔(盲目のピアニスト)/歌:癒シンガーKeiko/歌・ピアノ:安達充
- ◆チラシ発行部数:1800枚
- ◆配布先:かわさき情報プラザ、各区区役所、各区市民館、各区図書館、各区市政資料コーナー、川崎市視覚障害者情報文化センター、かわさき市民活動センター、川崎区・幸区近隣の小学校特別支援級、かわさき老人福祉・地域交流センター、川崎市複合福祉センターふくふく、ことだまこうしえんイベント会場
- ◆内容:
  - 1、ご参加の方のニックネームを事前にお伺いし、佐藤翔の演奏と共にお名前紹介
  - 2、佐藤翔による歌&ピアノ演奏
  - 3、「多発性硬化症の歌」(佐藤翔ピアノ演奏・癒シンガーKeiko 歌)に合わせて一緒にタンバリンで演奏コーナー
  - 4、そのままステージ体験希望者にはステージに参加して頂き一緒に演奏(撮影 NGの方はリボンで目印)
  - 5、アニメソングをご参加の方、皆で演奏
  - 6、会場の方からお一人、お名前を伺い、その方の名前の歌を「安達充」が即興で演奏
  - 7、「世界で一番素敵な言葉」の朗読劇(安達充によるピアノの生演奏と共に)
  - 8、「世界で一番素敵な言葉」を佐藤翔のピアノと癒シンガーKeikoの歌で演奏
  - 9、交流会

## 【実際の効果と課題】

### 【実際の効果】

- ・障害がある方もない方も、大人も子どもも、楽しんでくださっている様子が見受けられました。
- ・「皆一緒にタンバリンで演奏コーナー」と「ステージ体験コーナー」は皆さん演奏でご参加をしてくださっていました。
- ・「世界で一番素敵な言葉」の朗読劇と、ピアノ&歌での演奏は、涙されている方がおられました。
- ・「視覚障害者情報文化センター」さんのご協力が得られて、それにより視覚障害の方のご参加もありました。

(アンケートより)

- ・とても優しい気持ちになれました
- ・歌・演奏素晴らしかったです
- ・とても楽しいひと時を過ごせました。本日のことを友人に伝えて一緒に楽しみたいと思います
- ・とても良い構成でした、楽しむことが出来ました
- ・ステージに参加出来て、とても楽しかったです
- ・ファミリークリスマスに来たようです
- ・音楽を通じて人々が出会い、参加者同士と一緒に演奏をすることで共感し合い、一体感が生まれました。
- ・異なるバックグラウンドや経験に触れ、マイノリティの人々に対する理解と感動が生まれました。これは差別や偏見の軽減だけでなく、勇気と希望に繋がる機会でした。
- ・「感じる音楽会」は、音楽文化の拡大といったポジティブな影響をもたらしたと考えられます。
- ・障害があってもなくても楽しめる音楽の場を提供することで、多様な人々が音楽を楽しめる社会への一歩に繋がったと考えます。

### 【課題】

- ・集客が伸びず力不足でした(定員50名に対して25名。ただし参加申込者は28名)。開催日が連休のなか日であったことなど、今後は開催日・発信先・集客人数等も見直す必要があると考えます。
- ・内容がわからず来てみたら楽しかったというご意見もあれば、少し若者の方向けであり思っていたのと違っていたというご意見もあったので、チラシと告知内容をもっとわかりやすくする必要があるので、今後はもっと「見やすくわかりやすい内容」へと改善に努めたいと思います。
- ・音響設置、司会進行、演者、主催と一人で担うことが今回は多かったので、今後は予算面を考慮しながら担当配分の見直しもできればと考えます。